

報道関係各位


2018年5月25日
岡山放送株式会社

OH!
マイ瀬戸内 キャンペーン

瀬戸内を語るシンポジウム 2018 in 直島 開催

～ 5月25日参加者募集開始 ～

OHK岡山放送は、2016年春から番組やイベントを通して瀬戸内の魅力を再発見し世界に発信していく「OH!マイ瀬戸内」キャンペーンを展開しています。この度「瀬戸内を語るシンポジウム2018 in 直島」を香川県直島町で開催することになりました。3回目を迎える今年は瀬戸大橋開通30周年記念事業として、東京藝術大学美術学部長で教授の日比野克彦さんをナビゲーターに迎え、参加者100人によるワークショップを行います。ワークショップの参加者を本日から募集いたします。つきましては、イベントをみな様に広く知って頂きたくご案内をいたします。OHK岡山放送は、今後も番組やイベントを通し、岡山・香川、瀬戸内エリアの活性化に力を尽くしてまいります。

- タイトル :  瀬戸内を語るシンポジウム2018 in 直島
テーマ:「船長と仲間を考える、島づくりワークショップ」
- 開催日時 : 7月16日(月・祝) 12:30～16:00
- 場所 : 直島ホール(香川県香川郡直島町696-1 直島町民会館)
- 内容 : 無人島「春島」「夏島」「秋島」「冬島」にたどり着いた漂流船。
船長と船に乗り合わせた人々が力を合わせて、それぞれの島で島づくりをはじめます。
60年後の未来に「春島」「夏島」「秋島」「冬島」は、いったいどんな島になっているのか?
船長(テーマリーダー)と1チーム25人の仲間たちとの島づくりワークショップを通し
島の持つ課題や可能性について考えていきます。

<企画・ナビゲーター>

日比野 克彦(東京藝術大学 美術学部長 先端芸術表現科教授)

<テーマリーダー>

大塚 一步(NPO法人 Totie 理事兼事務局長)

福井 大和(NPO法人 男木島生活研究所代表)

山岸 紗恵(magic tunnel 代表、元直島町地域おこし協力隊)

坂口 祐(ウェブサイト物語を届けるしごと 一般財団法人さなごうち理事)



(日比野 克彦氏)

- 募集人数 : 100人
- 参加料 : 無料(応募多数の場合は抽選・当選者には招待状を送付)
- 応募方法 : OHKのHPから応募フォームに進み必要事項を入力 (<http://www.ohk.co.jp/>)
- 締め切り : 6月30日(土)
- 問合せ : 瀬戸内シンポジウム事務局 086-897-0995

【本件に関する問合せ】 岡山放送株式会社 企業広報担当 竹下 美保
(Tel 086-252-3215 Fax 086-252-3801)